

- 問1 室町幕府の3代将軍で、中国の明（みん）との貿易を行い、京都の北山に金閣を建てた人物はだれですか。
- 問2 書院造の具体的な特徴として、ふすまや障子、畳などが使われていることがあげられますが、これは現代の何のもとになったものですか。
- 問3 鎌倉時代に広まった、わかりやすい教えを持ち、武士や農民の間に広がった仏教のことを何と呼びますか。
- 問4 室町文化において、茶の湯や生け花が単なる楽しみ以外に大切にされていたのはなぜですか。
- 問5 鎌倉時代の力強い文化を代表する彫刻である金剛力士像は、どこのお寺の南大門にありますか。
- 問6 源頼朝が鎌倉に開いた、武士の政権を何といいますか。
- 問7 源頼朝が置いた「地頭」は、どのような場所に置かれましたか。
- 問8 14世紀に、足利尊氏（あしかがたかうじ）が京都に開いた幕府を何といいますか。
- 問9 室町時代から戦国時代にかけて見られた、実力のある者が、上の身分の者にとって代わる動きや風潮のことを何といいますか。
- 問10 北条時宗が元軍との戦いに備えて、守りを固めるために武士たちに築かせたものは何ですか。
- 問11 鎌倉時代に始まった二毛作は、主に日本のどの地域で行われましたか。
- 問12 室町時代に広まった「下剋上」とは、どのような動きや風潮のことですか。
- 問13 鎌倉時代に、吉田兼好（兼好法師）によって書かれた随筆は何ですか。
- 問14 源頼朝が鎌倉幕府を開いてから、鎌倉幕府がたおれるまでの約140年間のことを何といいますか。
- 問15 室町時代に始まった「狂言」とは、どのような劇ですか。
- 問16 源平の戦いのようすを描いた、中世に作られた有名な物語は何ですか。
- 問17 浄土真宗（一向宗）の信者たちが、みんなで団結して起こした一揆のことを何といいますか。
- 問18 足利義政が将軍だったころ、京都で大きな戦乱が起こり、町が荒れてしまいました。この戦乱を何といいますか。
- 問19 源頼朝が国ごとに置いた役職で、御家人の取りしまりや軍事、警察などを行ったものは何ですか。
- 問20 1274年と1281年の2度にわたって、元（モンゴル）が九州北部に攻めてきた出来事を何といいますか。
- 問21 源頼朝の弟で、源氏の軍を率いて平氏を西国に追いつめ、壇ノ浦でほろぼした人物はだれですか。
- 問22 中世の時代に、各地で「定期市」が作られるようになったきっかけは何ですか。
- 問23 3代将軍の足利義満が、明（中国）との間で勘合貿易を行った主な目的は何ですか。
- 問24 鎌倉幕府がつくった「御成敗式目」は、何をとおこなうときの基準として定められた法律ですか。
- 問25 平家物語は、どのような人たちによって人々に語り伝えられましたか。
- 問26 東大寺南大門にあり、鎌倉時代の力強い文化を代表する彫刻の名前は何かですか。

## 答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 足利義満	足利義満は室町幕府の全盛期を支えた将軍です。対外貿易による利益を活用し、北山文化を代表する建築物である金閣を建てました。ちなみに、銀閣を建てたのは8代将軍の足利義政です。混同しないように注意しましょう。
問2	答え 和室	書院造は、ふすまや障子、畳などが使われており、現代の和室のもとになった建築様式です。
問3	答え 新しい仏教	鎌倉時代には、それまでの難しい仏教とは異なり、武士や農民にも理解しやすい「新しい仏教」が広まりました。
問4	答え 精神をきたえるためや、人との交流の場として大切だったから	当時の武士や貴族にとって、静かに茶を点てたり花を生けたりすることは、自分の心を見つめ直す精神修養（精神をきたえること）や、大切な客人を招いてお互いの心を通わせる大切な交流の手段でした。
問5	答え 東大寺	金剛力士像は、奈良県にある東大寺の南大門に置かれており、鎌倉時代の力強い文化の特徴を表しています。
問6	答え 鎌倉幕府	源頼朝が鎌倉に開いた武士の政権を鎌倉幕府といいます。
問7	答え 荘園などの私有地	地頭は、源頼朝によって荘園などの私有地に置かれ、税の取り立てや取りしまりを行いました。
問8	答え 室町幕府	足利氏によって京都に開かれた政権は室町幕府と呼ばれます。源頼朝が作った鎌倉幕府や、徳川家康が作った江戸幕府とは、開かれた場所や時代が異なります。
問9	答え 下剋上	実力のある者が上の身分の者に取って代わる動きや風潮を「下剋上」といいます。
問10	答え 防塁	北条時宗は、元軍の攻撃から守りを固めるために、武士たちに防塁を築かせました。
問11	答え 西日本	二毛作は、鎌倉時代に西日本で行われた農業の方法です。
問12	答え 実力のある者が、上の身分の者に取って代わる動き	下剋上は、身分が下であっても実力がある者が、上の身分の者に取って代わる動きや風潮のことです。
問13	答え 徒然草	鎌倉時代に吉田兼好（兼好法師）によって書かれた随筆は「徒然草」です。
問14	答え 鎌倉時代	源頼朝が鎌倉幕府を開いてから、鎌倉幕府がたおれるまでの約140年間のことを鎌倉時代といいます。
問15	答え 能の合間に演じられ、庶民の生活などをユーモラスに描いた劇	狂言は、能の合間に演じられた劇で、庶民の日常の様子などをユーモラスに表現したのが特徴です。
問16	答え 平家物語	源平の戦いのようすを描いた物語は「平家物語」です。びわ法師によって語り伝えられました。
問17	答え 一向一揆	浄土真宗（一向宗）の信者たちが団結して起こした一揆を一向一揆といいます。
問18	答え 応仁の乱	足利義政の時代に、後の将軍の座や有力な大名の家督相続をめぐる、京都を中心に「応仁の乱」という長期間の戦いが起きました。この戦いにより京都の町は大きく荒れてしまい、室町幕府の力も弱まっていきました。
問19	答え 守護	源頼朝が国ごとに置いた、御家人の取りしまりや軍事・警察などを行う役職を守護といいます。
問20	答え 元寇	1274年と1281年の2度にわたり、元（モンゴル）が九州北部に攻めてきた出来事を「元寇」と呼びます。
問21	答え 源義経	源義経は源頼朝の弟であり、源氏の軍を率いて平氏を壇ノ浦でほろぼした人物です。

---

<b>問22</b>	<b>答え</b> 商業が盛んになったこと	定期市は、商業が盛んになるにつれて、各地で定期的に開かれるようになった市場です。
<b>問23</b>	<b>答え</b> 貿易によって利益を得るため	足利義満は、明（中国）との間で勘合貿易を行うことで、大きな利益を得ました。
<b>問24</b>	<b>答え</b> 武士の裁判	御成敗式目は、武士の裁判を正しくおこなうための基準としてつくられた法律です。
<b>問25</b>	<b>答え</b> びわ法師	平家物語は、びわ法師と呼ばれる人たちによって、語り伝えられました。
<b>問26</b>	<b>答え</b> 金剛力士像	東大寺南大門にある金剛力士像は、鎌倉時代の力強く生き生きとした文化を代表する有名な彫刻です。

---